

特 別 展

# 氷見の昔の道具たち

— 民具からみる地域のくらし —



平成28年 **10月14日(金)~11月6日(日)**

氷見市立博物館 特別展示室 午前9時~午後5時

休 館 日 月曜日(10月17日・10月24日・10月31日)

資料解説会 10月15日(土) 午後2時より〈参加自由〉

会期中の10月22日(土)と11月5日(土)の両日、午前9時から午後4時まで、  
氷見市文化財センター(氷見市中田・旧女良小学校)で収蔵・展示している民具を一般公開します。

観 覧  
無 料

## 氷見の民具—集めることで見えること—

氷見市立博物館には、開館準備のころから35年以上にわたって収集してきたたくさんの民具があります。

民具とは、衣食住や生業<sup>なりわい</sup>など、私たちが毎日のくらしのなかで使っているいろんな道具類のことをいいます。昭和30年代ごろまでは、日常生活に使われる多くの道具は、その地域の職人の手によって作られ、また使い手自らが手作りをして、日々のくらしに役立ててきました。

ところが、工業製品や電化製品が広く各家庭に行き渡ると、私たちのくらしはがらりと変わり、全国的に一律化、画一化していきます。

当館が所蔵する民具は、農業や漁業などに使われたものや、衣食住に関する用具のほか、地域の職人が使った独特の道具など多岐にわたります。それらは、この氷見地域でくらしを営んできた人びとの昔の生活の様子を知る大切な資料であり、モノに込められた知恵や工夫を現代の私たちに教えてくれます。

この特別展では、氷見で使われてきたさまざまな昔の道具たちを通じて、氷見の地域性を探り、少し前の時代の氷見の人びとのくらしと地域のありようについて紹介します。



ショイコ（背負子）を使った運搬作業  
（昭和30年代頃）



菓子職人の道具



竹細工職人の道具

○会期中の10月22日（土）・11月5日（土）の両日は、氷見市文化財センター（氷見市中田645番地・旧女良小学校）で収蔵している民具を一般公開します。あわせてご覧ください。開館時間は午前9時から午後4時まで、観覧は無料です。

## 氷見市立博物館

〒935-0016 富山県氷見市本町4番9号

TEL 0766-74-8231

FAX 0766-74-5520

E-mail : hakubutsukan@city.himi.lg.jp

URL : <http://www2.city.himi.toyama.jp/museum/>

### ●交通機関

鉄 道 / JR氷見線氷見駅下車、北西へ500m徒歩7分。

バ ス / 高岡駅前から加越能交通バス氷見方面行、  
「氷見市民会館前」下車、徒歩1分

自動車 / 能越自動車道氷見インターから東に3km。

●氷見市立博物館は氷見市民会館に隣接する、  
氷見市教育文化センター内にあります。

